

第 1707 回例会報告

令和3年9月17日(木)晴れ

会長挨拶

『ロータリアン松下幸之助さんの 座右の銘から思うこと』 会長 小口直久

先日の会長挨拶の中で、サミュエル・ウルマンの「青春」のお話をさせていただいたのですが、このことを調べている時にこの「青春に」感銘を受けたロータリアンであられた松下幸之助さんの記事が非常に興味深かったのでこちらについてお話しさせていただきます。

青春とは心の若さである。
信念と希望にあふれ、勇気にみちて
日に新たな活動を続けるかぎり、
青春は永遠にその人のものである

これは、松下幸之助さんが座右の銘としていた言葉だそうです。アメリカの詩人、サミュエル・ウルマンの「青春」という詩にヒントを得て、松下幸之助さんが七十歳の時に自ら作ったもので、常に若くありたいという希望と、常に若くあらねばならないという戒めをこめたものだという事です。

肉体的な年齢が年々増えていくのは、だれもが避けて通れません。しかし、心の若さは気の持ちよう、何歳になろうとも持ち続けることができる、常に前へ進む気力さえ失わなければ、若さはいつも向こうからついてくるというのが、松下幸之助さんの信念であったようです。

♪ 出席報告		♪ ニコニコBOX	
会員数	38人	1人	2,000円
出席対象	38人	累計	100,000円
ZOOM		目標額	60万円
中継会場	6人	達成率	16.7%
出席率	100.0%	前回修正	100.0%

松下幸之助さん九十四歳でお亡くなりになりましたが、亡くなる寸前まで、日本の将来のあり方を考え続けていたそうです。また「日本新記録をつくるために百三十歳まで生きる」と、みずからの年齢までも貪欲に生きる目標としていたそうです。その常に前向きに生きる姿勢は、まさに青春そのものであったといえるのではないのでしょうか。

松下幸之助さんが活躍しているころから既に日本の産業構造は、大きな転換期にあり、変革の必要性が強く叫ばれ、企業革新を担う企業家の出現、新たなベンチャー・ビジネスの台頭が必要だと考えていたそうです。



ところが、現在にも共通して言えることですが、日本には“経営管理者”ばかりが増えて、企業家精神に富んだ“企業家”がきわめて少なくなったという、これでは、将来の発展へ繋がらず衰退の一途をたどってしまうのは目に見えています。

今、企業経営者に求められているのは、冒頭の「青春」の言葉にあるような、信念と希望と勇気であると常におっしゃられていたそうです。

いかなる困難、混迷の中にあっても、企業を繁栄、発展させていく道は必ずあるという信念を持ち続け、こうやってみたい、こうありたいという情熱や希望、失敗を恐れず、未知のものに思いきって挑戦していく勇気とあくなき探究心。そうした、あふれんばかりの意欲と自信と不屈の精神をもって日々新たに進むべき道を探り、エネルギーの全てをぶつけて懸命に努力してはじめて、新たな発展への転機をつかむことができるのではあるまいかと説いております。

心の若さを失うことなく、夢を追い続け、企業家精神に満ちあふれていれば、年齢がいくつになろうと問題ではなく、次々と成すべき事に思いが走り、新



しい商売のやり方や発想が生まれ、ビジネスチャンスを見いだすことができるにちがいないと言いつけていたそうです。

ロータリー活動に真剣に取り組んでいたと言われていた松下さ幸之助さんですから、当然企業ばかりでなく、ロータリーに対しても同じ思いで日々過ごしていたのではないかとすることは想像がつかます。

我々諏訪湖ロータリークラブも、常にロータリーに対し信念と希望と勇気を持ち続けること、情熱をもって取り組んでいく姿勢がクラブの発展へと繋がっていくのではないのでしょうか。

◇会長報告◇

先日行われましたロータリーの世界的なイベント、「ロータリー奉仕デー」の一環である、ロータリー地球環境保全プロジェクトに、我々諏訪湖 RC は諏訪湖清掃でイベントに参加いたしました。世界中のロータリアンと同じ日に同じ思いを共有できるとても有意義な時間であったと考えております。久しぶりに諏訪湖の様子をうかがったわけですが、諏訪湖の環境は想像していたよりひどく、湖岸は雑草類に覆われ、諏訪湖に近づくことさえできず、湖内にはヒシガぎっしり繁茂して以前にも増してひどい状況であると感じさせられました。コロナ禍以前の状況に戻るにはまだまだ時間がかかりそうだと思いますが、少しでも状況が改善できるよう我々も小さなことから少しずつ取り組んでいきたいと考えております。

事前の予定になかったにもかかわらず、多くの会員にご参加いただき心より感謝申し上げます。

◇幹事報告◇

【理事会報告】

1)10月例会予定

日	回	内 容	担 当
7	休会		
9	土 1709	ロータリー奉仕デー (4クラブ合同諏訪湖清掃)	会長・幹事
14	木 1710	3クラブ合同例会・主管諏訪湖	会長・幹事 クラブ奉仕委員会
21	木 1711	上沢広光ガバナーノミニー卓話	クラブ会報 雑誌広報委員会
28	木 1712	会員卓話 森山広会員	社会奉仕委員会

2)納涼例会の決算が承認されました

【報告事項】

1.9月12日の諏訪湖清掃は19名の参加をいただきました。ありがとうございました。

【連絡事項】

1.ロータリー研究会第50回記念講演会の連絡が来ました 12月8日に記念講演があります、ネットでも中継をするそうです。参加希望の方は事務局までご連絡ください。

【受領文書】

- 1.“ハイライトよねやま”が届きました。閲覧ご希望の方は事務局までご連絡ください。
- 2.バギオだよりが届きました。閲覧ご希望の方は事務局までご連絡ください。
- 3.«コーディネーターニュース»10月号。閲覧ご希望の方は事務局までご連絡ください。

第1707回例会

『成年後見人制度について』

会員卓話「五味弘行会員」

担当 職業奉仕委員会

本日の例会は、五味弘行職業奉仕委員長による卓話でした。

五味会員の弁護士という職業を通じての成年後見人の話は、具体例に富み、示唆深く大変面白い話でした。とくにパワーポイント(スライド)を使わない久しぶりの生の卓話は、30分全く飽きさせることなくあっという間でした。

「職業後見人の役目はカッコよく言えば世のため人のための仕事です。常日頃の仕事が争いごとばかりですので、後見人に争いごとがないというわけではありませんが、ホッとする部分多い仕事です。この後見人という仕事に支払われる報酬は、ほとんどボランティアですが、ボランティアという言葉ではどうもしっくりしませんでした。ところが、ロータリーの職業奉仕の考え「職業を通じて奉仕する」という言葉に出会いとてもしっくりした」と話していたのが印象的で、まさにその通りの卓話でした

